

聖家族

June

カトリック糸島教会
〒819-1306
福岡県糸島市志摩松隈 770
Tel&FAX 092-327-3210
catholicoshima.sakura.ne.jp
主任司祭 岩下 和樹

No. 205 2024年6月号

『互いに支え合う
交わりの教会となる』

「お久しぶりです」

主任司祭 岩下 和樹

糸島教会信徒の皆様、お久しぶりです。

「はじめまして」の方もたくさんいらっしゃると思いますが、4月から主任司祭に任命されました岩下と申します。私は長崎教区司祭で、福岡に派遣されて4年目を迎えております。

出身は五島列島福江島の西側に位置する三井楽町の貝津教会です。



貝津教会



今から20年前、私が助祭だった頃、約3ヶ月間この糸島教会にお世話になりました。当時の主任司祭櫻井神父様が私の霊的指導司祭ということもあり、大変良くしていただきました。日曜日のミサの後、子供たちとサッカーや野球をして遊んでいたことを懐かしく思い出します。

2005年3月21日、長崎のカトリック浦上教会で行われた私の司祭叙階式にも、この糸島教会からたくさんの方が来てくださいました。前日、福岡西方沖地震が起こって、大変な状況だったと思います。しかし、それでも本当にたくさん参加して、お祈りをして下さったこと、深く感謝申し上げます。

このように、糸島教会は、私にとって神学生時代から大変お世話になった教会です。神様のご計画は、私たちの思いをはるかに超えておられますが、時として、自分の使命は何なのか、そのことを具体的ににお聞きしたいと考えてしまいます。

何のとりえもない私ですが、この糸島教会のために、少しでも何かお役に立てればと思います。茶山教会とも、合同堅信式などを通して交流できたらと考えております。どうか信徒の皆様、これからよろしくお願いいたします。



茶山教会



「山元神父様、ありがとうございました！」

約一年の短い期間でしたが、「聖家族」糸島教会の皆さんと出会い、主日のミサをともにお祝いできたことをとても嬉しく思っています。

すばらしい環境に恵まれ、子どもたちも、若い方々も、壮年の方、高齢の方もたくさんいらして、ほんとに「家族」の雰囲気でした。

外国からの皆さんも一緒に主日を祝うことも、この上ない喜びでした。

十分にご奉仕できなかったことを残念に思っていますが、限られた時間の中で家族の交わりに加えていただいたことを感謝しています。

これからも司教様や主任司祭を中心にではなく、わたしたちの「主イエス・キリスト」を中心に(アベイヤ司教様がいつも言われていることです)据えた家族であり続けることを期待しています。みなさん、お元気で！！

山元 眞 神父



「子や孫への宣教？」 協力司祭 山口 好信

糸島教会の協力司祭として2年目に入りました。今年もよろしくお願い致します。

さて、皆さんの中にも「自分の子や孫が教会に来ないことに責任を感じます」と嘆いている方がいらつしやるのではと思います。戦後間もない頃は、多くの人がカトリック教会にもプロテスタント教会にも来ていたようですが、現代は物質的にも恵まれ、精神的にも自由な雰囲気の中で生きることが出来ます。

とりわけ、命の危機や死後のことなど考える必要もそれほどない時代です。戦後まもなくの教会には、一般家庭にはない物珍しいものや貴重なもの、人を惹きつけるものが色々あったようですが、現代は教会より世間のほうが魅力的なものに満ちていますから、教会に行きたいという気持ちにならないのは当然かもしれません。

年毎の信徒数の推移を見ますと、明らかに減少傾向にあります。キリスト教国だったドイツでもそうなのです。昔とは違い、教会に行くか行かないかは、自分で考えて自分で決めることになります。それが個々人の持っている「人間の尊厳」でもあります。

現代は、神様が求めている教会はどういう教会なのか問われている時代です。バチカンを始めとして世界中のカトリック教会でシ

ノドス（共に歩む教会にするための運動や会議）が進められているのはそのためです。

ドイツのシノドスでは教会の刷新を考える時、5つのポイントをあげています。①聖書、②伝統、③時のしるし、④神の民の声（つまり信徒の意見）、⑤教導職と神学（つまりバチカンの考え）の五つです。この五つをいわば天秤にかけてつ何が神様のご意思なのか考えていく。それも自分たちだけでなく世界中一致して、そして魅力ある教会にしていくということになると、これは至難の業でしょう。お子さんやお孫さんを教会に招くことも私たちの手に余ることかもしれません。

まずは、ヨハネ福音書にあるように、ぶどうの木であるキリストにその枝として私たち一人一人がつながること、祈りつつ「目に見えないキリスト」とのつながりを深めながら、その上で、それと教会との関係を考えながら生きていきたいと思えます。皆さんのご健康を祈っています。



「みことばによる養成を共に」 協力司祭 レナト・フィリピーニ

昨年度の9月から3月末まで月3回、こちらの教会で水曜日の10時ミサの後、10人前後の方たちと共に約1時間、みことばの分かち合いの集いを開きました。養成ですから1回のみではなく定期的に行い、最初の2回はみことばの分かち合いの目的、進捗と流れについての説明会を設けました。簡単にみことばの分かち合いについて紹介しましょう。

まず、みことばが集いの中心ですので、聖書を開いてテーブルの真ん中に置きます。そして分かち合いを円滑に進行できるように、ファシリテーターが必要です。その役目は、参加者一人ひとりの発言と集い全体の時間調整、また参加者の発言内容とみことばの関係性を確認することです。事前に分かち合いグループを二つに分けて4人、5人ずつにし、全体の分かち合いの時間を60分以内としました。

「聖霊の助けを求める祈り」をした後、当日のみことばの箇所が朗読されます。その時は手元の聖書や「毎日のミサ」を見ず、朗読に耳を傾けました。朗読後、各自で沈黙の内にゆっくりと繰り返し本文を読みます。そのため約10分の沈黙の時間をとりました。

みことばの分かち合いでは、順番ではなく参加者が思い思いに3分以内の発言ができま

す。その時、説明しようとするのではなく、感じたことをありのままに語ります。分かち合いの1周目では、語られた内容についてキャッチボールのようなやり取りにならないよう注意が必要です。心構えとして、自分が感じたことを相手にプレゼントとして差し上げる、またそれをそのまま受け入れることが大切です。2周目では、相手の分かち合いからいただいた気づきなどについて、さらに分かち合うことができます。ここまで読んであなたもみことばの分かち合いをしたくなかったのではありませんか？みことばとの関係は主日とミサだけではなく平日でもいつでも。これも「共に歩む」教会の実践としての一環なのです。

シリーズ：道をともに

平日にも

DELIVERY

みことばの配達

～普段着のあなたへ～

66 本物のコミュニケーションによる交流
(マルコによる福音書7章31～37節)

企画：カトリック福岡司教区 宣教・養成委員会信徒養成部門

運営：有志グループ「みことば配達人」

レナト神父様の原稿を元に、
有志の朗読により作成された
「みことばの配達」を第2・4水曜日
YouTube 発信中です。
是非ご覧ください!!

「2024年度の

信徒総会を終えて」

パウロ Y・M

糸島教会信徒総会が、4月28日(日)信徒40数名程の参加のもと開かれました。司会進行はU副会長で、まず初めに岩下神父様による開会の祈りと、「糸島教会着任後初めての集いで、皆で話し合いながら良い方向に進めるよう、司祭・信徒が一つになって歩んでいきましょう」との挨拶がなされました。

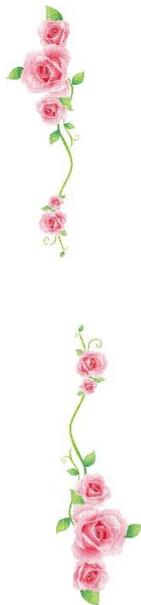
議長は今年もTさんが快く引き受けて下さいました。この場をお借りし感謝申し上げます。書記はH副会長に務めて頂きました。

1号議案〜5号議案について各担当者より説明がなされ、すべて拍手・承認されました。総会の中の意見・要望として、Hさんより環境設備の草刈りの問題で、「手伝ってくれる信徒が高齢化していく中、今後どうするか真剣に考えていきたい」。Nさんより、「信徒総会資料を当日ではなく1週間前には配布してほしい」「墓地は糸島教会以外の方も購入しておられるので、各購入者へ決算報告書など送って周知を」とのご意見を頂きました。貴重なご意見ありがとうございました。

早速、役員会で検討したいと思います

糸島教会の今年度の信徒使徒職活動方針は、「互いに支え合う交わりの教会となる」です。コロナ禍も5年目を迎え、世の中落ち着きを取り戻しつつあります。今年は久しぶりに巡礼も予定しています。外国からの皆さんとのふれあいの場も考えたいと思います。堅信式・司教様の公式訪問も予定されています。

最後になりましたが、今年1年お互い、支え合い助け合い祈り合いながら、平和と一致のうちに歩んでまいりましょう。



「集まれこどもたち」

生涯養成・信仰教育委員会

コロナ禍が落ち着いてきた一昨年度より、子ども達の活動を再開させました。

22年度に、初聖体の勉強会を行い、申神父様の元、5人の子ども達が初聖体を授かりました。その子達を中心に、「子ども集い」を立上げ、保護者さんの協力もいただきながら活動してきました。

23年度の活動の様子は、「聖家族」23年12月号に載せていただきました。写真は、それ

以後行われた「たこ作り・たこあげ」「盲導犬協会訪問」の様子です。



カトリック系島教会 2023年度 子どもの集い報告

活動日	内容と子どもの参加者数：（ ）内の数字
5月 7日(日)	計画を立てよう
6月 4日(日)	紙飛行機・折り紙(7)
8月27日(日)	夏の子どもの集い(13)
10月 1日(日)	運動遊び(10)
10月29日(日)	ふれあいガ-デンガ-「子-子どもランド」(8)
11月 3日(金)	大神学院祭
11月 5日(日)	ママの集い(3)・ゴム跳び遊び(6)
11月19日(日)	七五三子どもミサ (保護者朗読・奉納・共同祈願・伴奏)
11月26日(日)	クリスマスかざりつけ
12月 3日(日)	クッキー作り(9)
12月17日・24日	クリスマス募金
1月28日(日)	世界子ども助け合いの日
2月 4日(日)	たこ作り・たこあげ(9)
3月10日(日)	盲導犬協会訪問(3)

24年度も楽しい集いを計画しています。みなさんの参加をおまちししています。



年度末の反省では、「様々な季節を感じる遊びや体験ができて、子ども達も楽しい思い出がいっぱいになりました。」(母)「毎回、始まる前に、子どもが文句を言いますが、終わったなら、楽しかったと言っています。長さがちょうどいいです。」(父)「たこをついたり、そとにいつて、たこを空たかくとばせたりして、たのしかったです。ありがとうございます。」(1年生)などの声をいただきました。また、留学生も参加してくださっています。子ども達と交流してくださっています。本年度も、楽しい集いを企画したいと思っています。1回目は、6月2日の予定です。子ども達、保護者のみなさん、留学生のみなさん、そして「いつまでも子どもでいたいあなた」、どうぞご参加ください。

《お知らせ》 本年度は、初聖体と堅信を予定しています。対象者は、初聖体が小学校1年生以上、堅信は5年生以上の子供達です。中学生・大人でもかまいません。希望される方は、神父様もしくは浦越までお知らせください。

「イタリアの日本聖殉教者教会の壁画について」

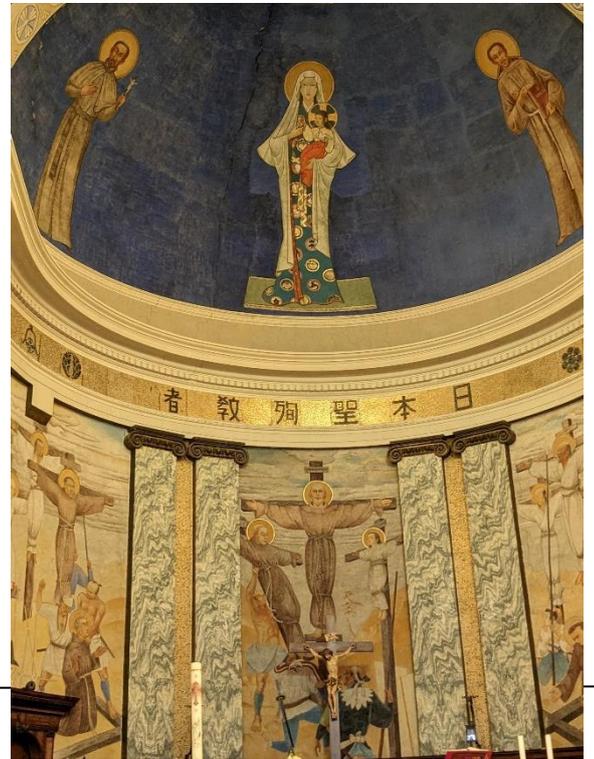
T・I

ローマの西北に小さなチヴィタヴェッキアという港町があり、ここに日本の二十六聖人の壁画が描かれている教会があることは、一般にはあまり知られていません。

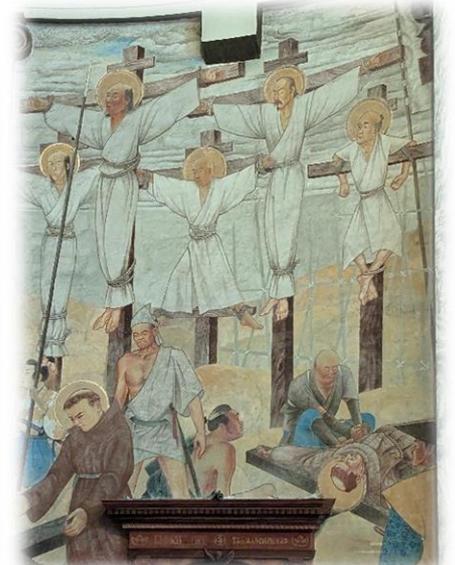
今春この教会を訪ねられたSさんからお話を伺い、いくつかの画像を見せていただき、その清澄な美しさにすっかり魅了されました。



この港町は17世紀支倉常長らの遣欧使節が、ローマに向かうために上陸したところです。19世紀になって二十六聖人が列聖された後、その地の小さな修道院が「日本聖殉教者教会」と名付けられ、戦争で焼け落ちた壁画の復興に日本人画家が招聘されました。その画家が長谷川路可という方で、カトリック画家として有名で、遺作と



なった二十六聖人記念館の「長崎への道」など多数の聖画を残されていることを知りました。残念ながらこの方の画集は現在手に入れることができませんが、その片鱗を知ることができて、久しぶりに心に明るい灯火がともされたような暖かい気持ちになりました。Sさんのご厚意によりその聖画像を分かち合えることを感謝いたします。



*6月1日、カトリック女性の会総会が
大名町教会で開催されます。

福岡教区福岡地区
カトリック女性の会
-第41回総会-

6/1 13:00~16:00
(受付 12:30から)
(土) 大名町教会大聖堂にて

司式 ヨゼフ・アベイヨ司教
共同司式 レナト・フィリビーニ神父
(福岡地区カトリック女性の会担当司教)

プログラム
・13:00 総会
《体型》
・15:00 ミサ

ご来場の皆様へお願い
当日は駐車スペースに限りがありますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。

お申込み
お申込用紙の提出・ご質問は各委員までお願いいたします。

申込み締切
5/26(日)

皆様のご参加をお待ちしています